



御前崎市「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年カーボンニュートラルを目指して～

近年、世界では、地球温暖化が原因とみられる異常気象により災害が増加しており、国内においても、甚大な被害を及ぼした巨大台風や集中豪雨の事例は、記憶に新しいところです。こうした事態は、もはや「気候変動」の域を超越し、人類にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」ともいうべき事態となっています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温上昇を2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。さらに2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2°Cよりリスクの低い1.5°Cに抑えるためには、2050年までにCO₂の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

御前崎市は、第2次総合計画に掲げる将来都市像「子どもたちの夢と希望があふれるまち 御前崎」実現のため、国際社会の一員として、脱炭素社会の構築を目指します。そして、望ましい環境像として掲げる「守ろう 豊かな自然 創ろう 次世代へつなぐまち御前崎」に向けて国や県と連携し、市民や事業者と一丸となって2050年までにCO₂の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に取り組んでいくことを宣言します。

2021年 2月 15日

御前崎市長

柳澤重夫